

被災地クラブへ「応援メッセージ」と「してほしいこと・できること」

1. 必要としています！

●被災したコーチの靴と靴下の支援を！

全国各地から多くの支援を受け仙台市はライフラインをかなり回復してきました。
街が回復するほどに、失ったものの大きさをしるところで時折、淋しさが胸を締め付けます。

私の少年団のコーチは、石巻市に住んでいて首筋まで津波の水につかりながら助かりました。
こうしたコーチのような方々は多くいます。彼らは、全国みなさまの支援によりようやく
満足な食事ができるようになりましたが、着の身着のまま逃げたため靴下も含めて
靴は1足しかもっておらず、その後の水不足により洗うこともままなりません。

スポーツを愛好する皆様の力添えで、中古の靴でも結構です。
1足でも多くの靴や靴下の支援をお願いいたします。(4月5日)

スポーツを通じて青少年のからだところを育てる組織を地域社会に！

向陽台青空スポーツ少年団 団長 佐藤一彦
〒981-3102 宮城県仙台市泉区向陽台一丁目8番16号
090-9324-7826, 070-6616-5050
http://www.geocities.jp/koyodai_club/index.html

●かゆみ止め、虫除けスプレーを！

今回の災害については皆様にご心配いただきありがとうございます。
クラブの体育館には千人を超える避難者の方がおられ、
現在、残っている方は、津波で家を流された方や原発地区で避難されてきた方々です。

生活に必要な物資は、以前よりだいぶ集まってきています。
これまでは寒さ対策でしたが、これから、暖かくなるにつれて、
網戸のない避難所では、蚊などの虫対策が必要になると思われます。

避難所は、防火のため蚊取り線香がたけません。
そこで、かゆみ止めや、虫除けスプレーなどを、できる範囲で構いませんので
少量ずつでも送って頂けると助かります。何卒、よろしく願いいたします。

<送付先>

〒960-8034 福島県福島市置賜町8-8
パセナカ Misse 一階 NPO 法人エフ・スポーツ 半澤様 (外に支援物資在中と記入)
TEL/Fax: 024-521-6631

2. 応援しています！

●被災された方々へ

スポーツもできない状況で、生活されていると思います。
私のクラブも体育館が損傷し、そのままでは活動できない状況ですが、
近隣の体育施設に何度も足を運び、なんとか4月はすこし活動できるようになりました。
受け入れてくれた担当者の暖かい気持ちに“感謝”しています。 ^-^:

被災されたクラブの活動は時間がかかるとは思いますが、
会員の方が楽しくスポーツできるように、一緒に活動していきましょう！！

スポーツクラブ YOU GO！（栃木県）
クラブマネジャー 茂呂田

●これからずっと、出来る支援は何か

何より大切なのはこれから続く「息の長い支援」だと思います。
いますぐ、ではなく、これからずっと、出来る支援は何か。
わたしたちも鹿児島島から考えています。動いています。動き続けます。

太田敬介 NPO 法人SCC(スポーツコミュニケーションサークル)
<http://www.10bai.com/scc/>

●ドイツの支援活動

ドイツでは、真剣に日本の原発事故を心配しています。
ドイツでは10基の原発のうち7基を停止したそうです。
私たち新町には、ニュルンベルク市から「クラブ関係者は移住してこい」と連絡がありました。
このような暖かい言葉がうれしいです。
ニュルンベルク市では、13日の日曜日教会に1000人以上集まって
日本の復興を祈ってくれました。
そして、各クラブが義援金を集めています。

私たちがドイツの仲間に負けないように、物もお金も心も温かく支援しましょう。
各自ができることを行動して、大きな提案は力を合わせて支援しましょう。
今は、どんな支援の方法でも有効なのです。
避難所で暮らした新町の若者からの言葉です。

小出利一 NPO 法人新町スポーツクラブ
<http://www15.wind.ne.jp/~svc/>

●一歩ずつ前へ

この危機をどうぞ皆さんの日頃のパワーと明るさで一歩ずつ前へ進んで下さい。
日々、東京からみんなで祈っています。

興本倶楽部

●「がんばれ東北 よみがえれ日本！」

柵原星の里スポレク倶楽部(岡山県)から応援しています！

(「スポレクニュース第 68 号」ページ下方の写真)

<http://www.cyerry.net/~hoshinosato/doc/news/201104news068.pdf>

3. お元気ですか？

●宮城県登米市中田スポーツクラブ「パティオ」のみなさんへ

震災被害の影響いかがでしょうか。

こちらは、内陸部であるため大きな被害も無く

最近は燃料等の供給も安定し生活が回復してきております。

2月に視察でお伺いし今後の交流等も期待していた中、このような大災害に見舞われ
当クラブとしても何かお役に立てる事はないかと皆心配しております。

今後1日も早い復興を心からお祈りしております。

金ヶ崎町総合型地域スポーツクラブ連絡協議 事務局 相馬大典

〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根南羽沢 55 番地

岩手県胆沢郡金ヶ崎町中央生涯教育センター tel:0197-44-3123 fax:0197-44-3125

e-mail:soma@town.kanegasaki.iwate.jp

●宮城県七ヶ浜町スポーツクラブ「アクアゆめクラブ」スタッフの皆さんへ

お元気ですか？

先日はありがとうございました。お元気そうで安心して帰ってきました。

海沿いの生々しい津波の跡、当日の眼下に広がる光景はすごかったらうなあと思いながら、
復路は多賀城を通りました。

ここでの光景も「あのテレビの画像だ！」と、生々しい現実を見ることになりました。

いつか必ず私達が出会った「アクアゆめクラブ」のスタッフの活動が再開できます。

遠くで何もできないのですが、とにかく元気なクラブになることを影ながら応援しています。

またその時はお伺いします。元気でね！

〒999-1352

山形県西置賜郡小国町大字岩井沢683-1

【おぐにスポーツクラブ Yui 事務局】 藤田

TEL; 0238-62-5808 E-mail; oguni-yui@rouge.plala.or.jp

●岩手県北上市スポーツクラブ「フォルダ」クラブマネージャー小原様

先日は大変失礼いたしました。その後もボランティア活動の方、頑張っている事と思います。頭が下がる想いです。遠くで想いをつのらせているだけで本当に申し訳ありません。地域の被災された方々の「こころの拠りどころ」で、「地域に支えられ、地域を支えるクラブの活動」として頑張ってください。それしか、言えずに申し訳ないです。また何かありましたら連絡ください。

〒999-1352

山形県西置賜郡小国町大字岩井沢683-1

【おぐにスポーツクラブ Yui 事務局】 藤田

TEL; 0238-62-5808 E-mail; oguni-yui@rouge.plala.or.jp

HP; <http://ogunisc-yui.net>

- 第7回開催地のNPO法人はらまちクラブ・みなみそうま遊夢クラブの皆さん、如何お過ごしでしょうか。想像を絶する甚大な被害を受けられ、更に度重なる余震に遠くからただおろおろするばかりで言葉もありません。被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。全国のクラブ仲間との絆を深めながら、いつまでも応援します。希望と夢を大切に、一日も早い復興をお祈りしております。

第6回全国クラブ会議開催地 和歌山県田辺市
NPO法人会津スポーツクラブ

4. こんなことができます！

- 応援Tシャツ原版とポストカードの送付

A、復興応援Tシャツをみなさんで！

原版はどなたでも活用することができます興味があるかたはご連絡ください。

B、ポストカード送りたい！

被災された総合型地域SCやバスケ(小中高一般)のみなさんを紹介いただければこちらから応援メッセージとしてイベントの応援カードを送りたいです。

▼Tシャツとポストカードのイメージ(写真)

<http://nscnpo.ti-da.net/e3371558.html>

<連絡先> 特定非営利活動法人ナスク 矢貫卓博
携帯 090-1947-7935
TEL 0980-56-2804 FAX 0980-56-2831
クラブ web サイト <http://www.nakijin.com/sc>

- 岡山県のクラブによる物資等支援

柵原星の里スポレク倶楽部が、総合型地域スポーツクラブへの物資等を支援しています。

<http://www.cyerry.net/~hoshinosato/kiji/2011-03-11jisinn.html>

<連絡先> e-mail:hoshinosato@cyerry.net

●秋田県のクラブによる貸家・貸室支援

秋田県仙北市にある NPO 法人角館 S・T・S(総合型地域スポーツクラブ)が、クラブ所有のゲストハウス(クラブハウス隣の空き家をリフォーム)で被災した方々を、一定期間(1週間でも半年でも)受け入れたいという意向を持っています。また、同市は観光地でもありホテルや旅館、公共宿泊施設等でも同様の計画を持っています。心当たりの方がおられたら、下記まで一報ください。クラブ員が中心となりお世話致します。

秋田県クラブ育成アドバイザー 田中忠夫

○電話 018-864-8094(秋田県体育協会) メール taikyoutanaka@yahoo.co.jp

●避難所での高齢者の運動不足解消・リラックス・エコノミークラス症候群予防に

宮城県クラブ育成アドバイザー相田さんより「避難所では、遊び盛りの子ども達や、運動不足のお年寄りもおります。運動は病気の予防やストレス解消に必要です。ちょっとしたスペースで軽運動や椅子、床に座ったままでの体操は喜ばれると思います」と情報をお寄せいただきました。相田さんありがとうございました。

以下は、高齢者が座ったまま自分でも簡単にできる「健口体操」のガイド(PDF)です。著作者より「どうぞ自由にお使いください。お役立てください」と許可を得ております。

▼「健口体操のすすめ」(全 8 ページ、内容部分は 5 ページ)

http://www.setagayaj.or.jp/rp/upload_data/roka-kenkoutaisou-no-susume.pdf

「深呼吸と首、肩の体操」「唾液腺マッサージ」「舌体操」「発音」「呼吸リハビリ体操」「下肢の筋力アップ体操」が、かわいいイラストとともに、高齢者が見てもわかりやすく、すぐできるように解説されています。避難所などでの指導や配布にお役立てください。

まとまった数で配布をご希望の方は、上記、体操部分をお送りしますので、希望部数と送付先を、右までお知らせください。 松澤 Email:matsuj@yacht.ocn.ne.jp

<注>情報は寄せられたものをそのまま掲載しております。お問い合わせや送付の際は、直接発信者宛にさせていただきますよう、お願いいたします。

情報をお寄せくださった皆様、ありがとうございました！

1日も早く普通の生活に戻れるよう、復興に向けて皆で取り組んでいきましょう！